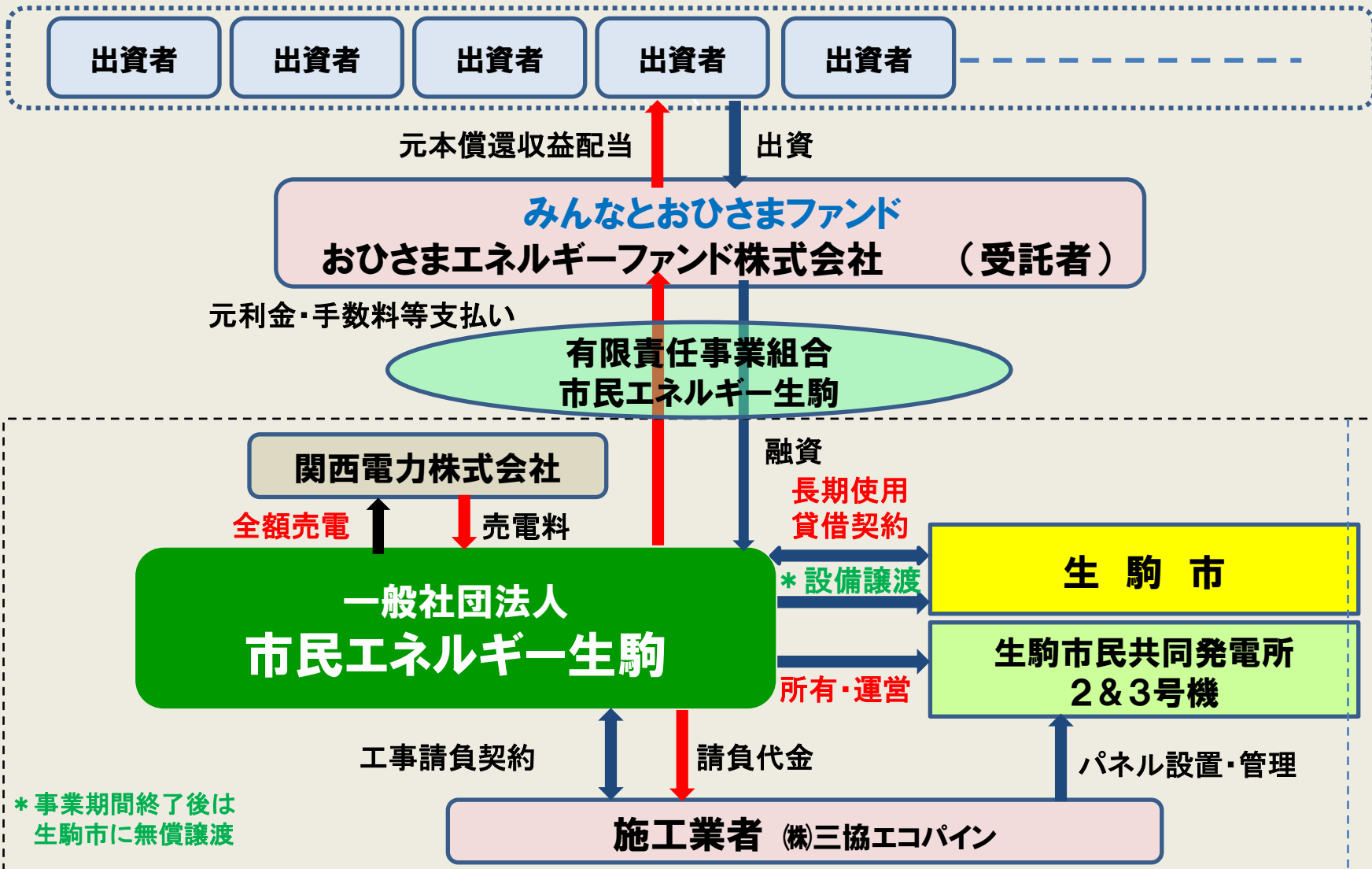


2 & 3号機 事業の流れ



生駒市民共同発電所2・3号機



3号機
小瀬保健福祉ゾーン法面



2号機
南こども園

2 & 3号機新聞掲載及び目指す姿

2号機

南こども園



小紫市長（右から4人目）に目録を渡した「市民エネルギー生駒」のメンバー（生駒市役所で）

設備機器など
生駒市に寄贈
市民出資の法人
再生エネルギーの普及を
目指す生駒市の一般社団法人「市民エネルギー生駒」は、太陽光発電の収益を活用し、発電設備の機器などを市に寄贈した。
法人は市民の全額出資で発足し、1号機のソーラーパネルを2014年3月、し尿処理場「エコパーク21」に設置。関西電力に売電しており、順調に収益をあげている。出資を受けた17

4. 13
読売新聞朝刊掲載

3号機

小瀬保健福祉ゾーン法面



市民共同発電所
2カ所目が完成
生駒で通電式
市民らが出資してソーラーパネルを設置した「市民共同発電所」が生駒市に完成し、5日、通電式があった。小紫雅史・同市長らが顔をみせた。

3. 6
朝日新聞朝刊掲載

2014年3月のできた1号機に続く2カ所目。3月末には、3カ所目の完成も予定されている。
市民らでつくる一般社団法人「市民エネルギー生駒」（楠正志代表理事）が運営する。市内の介護老人保健施設の敷地内に約50㎡ワットのソーラーパネルを設置した。
発電した電気を今後20年間、電力会社に売る。出資呼びかけに応じた市民らに、配当を上乗せして出資分を返していく方針だ。
(小出大貴)

関西一住みやすい
環境モデル都市「生駒」の創造！

市民力の結集！

緊急災害時電力供給

地域の安全なエネルギー創出

エネルギーの地産地消体制

創エネ

省エネ